1996年4月1日から2019年12月31日の間に当科で甲状腺乳頭癌の診断と治療を受けられた方及びご家族の方へ

「甲状腺乳頭癌患者における血中好中球リンパ球比(NLR)と血小板リンパ球比(PLR)の意義の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	特任教授	田中克浩
研究分担者	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	教授	平 成人
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	准教授	山本 裕
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	野村長久
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	講師	小池良和
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	緒方良平
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	岸野瑛美
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	三上剛司
	川崎医科大学乳腺甲状腺外科学	臨床助教	福間祐菜

1. 研究の概要

当科での甲状腺乳頭癌術後の患者さんに対して術後経過の際に採取している採血で血中好中球リンパ球比(NLR)と血小板リンパ球比(PLR)を算出し、甲状腺癌術後患者の経過との関係を見るのが目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

1996年4月1日から2019年12月31日の間に川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科で甲状腺乳頭癌の手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2020年9月4日～2024年8月31日

3) 研究方法

1996年4月1日から2019年12月31日の間に川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科で甲状腺乳頭癌の手術を受けられた方で当科に術後も通院されている約400名について研究者が診療情報をもとに採血と病理検査結果のデータを選び、血中好中球リンパ球比(NLR)と血小板リンパ球比(PLR)を算出し、各々の数字の変化と臨床データとの関連を調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：臨床データは年齢、性別、pTNM分類、pEX、腫瘍径、採血でTSH、FT4、サイログロブリン、抗サイログロブリン抗体とリンパ球数、血小板数、好中球数等です。

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学乳腺甲状腺外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科

氏名：田中克浩

電話：086-462-1111 内線 26201（平日：13時00分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：tanakaka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。